

研究に関するお知らせ

— 静脈洞血栓症における頭部ルーチン MRI 撮像法の診断能の比較検討 —

帝京大学医学部附属溝口病院では以下の研究を行います。

本研究は、倫理委員会の審査を受け承認された後に、関連の研究倫理指針に従って実施されるものです。

研究期間：平成 30 年 2 月 13 日～平成 30 年 9 月 30 日

〔研究課題〕 静脈洞血栓症における頭部ルーチン MRI 撮像法の診断能の比較検討

〔研究目的〕 本研究は頭部 MRI 撮像法において、静脈洞血栓症の診断にどの撮像法が最も有用か、またどの組み合わせが有用かを明らかにすることを目的にしています。

〔研究意義〕 頭部ルーチン MRI 検査のみで静脈洞血栓症を疑うことができれば早期診断につながるものと考えられますが、静脈洞血栓症の診断に頭部ルーチン MRI 検査所見がどの程度寄与するかはあまりわかっていません。そのため、撮像法の所見が診断に有用かを明らかにすることは意義があると考えられます。

〔対象・研究方法〕 **平成 18 年 10 月 1 日から平成 28 年 9 月 30 日の間**※に頭部 MRI 検査が施行され、DSA、造影 CT、造影 MRI など確定診断が得られた静脈洞血栓症の患者様と、その対照群として DSA と頭部 MRI が施行され静脈洞に異常がないと診断された患者様を対象としています。対象となる方のカルテ情報から、患者背景、MRI の画像および検査結果を利用させて頂き、非造影の頭部ルーチン MRI 検査の有用性を検討します。

〔研究機関名〕 帝京大学医学部附属溝口病院他(全国約 40 施設参加予定の多施設共同研究として実施)

〔個人情報の取り扱い〕 研究にあたっては、対象となる方の個人情報は匿名化および対応表を作成して管理いたします。情報として、患者背景(性別、生年月、年齢、身長、体重、症状、既往歴、静脈洞血栓症の原因疾患)、血液検査結果(血算、生化学)、MRI 検査および画像情報(検査日、使用装置名、メーカー、撮像方法、画像)、確定診断情報(診断日、静脈洞血栓症の病変部位、確定診断方法)について、研究事務局である近土写真製版株式会社メディカル部(情報管理責任者：牛尾幸二)にインターネット経由で送付します。送付された情報は、研究事務局、研究統括責任者(宮崎大学医学部病態解析医学講座放射線医学分野：平井俊範医師)、メディカルアドバイザー(岩手医科大学医歯薬総合研究所：佐々木真理医師、および大阪大学放射線統合医学講座放射線医学：渡邊嘉之医師)が使用いたします。このように情報を提供した記録を作成し送付先に提出。また情報を提供した届出書を倫理委員会に提出しますが、これらの書類を研究期間中は当院で適切に保管し、また研究終了後は帝京大学臨床研究センター事務局で 10 年間保管の後に廃棄いたします。

〔その他〕 本研究のために、患者さんに新たな検査や費用が追加されることは一切ありません。当院で実施されている通常の頭部ルーチン MRI 検査により、上記期間中(※)に得られた検査結果を本研究のために使用させていただきます。

対象となる患者様で、ご自身の検査結果などの研究への使用をご承諾いただけない場合や、研究についてより詳しい内容をお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。

ご協力よろしくお願い申し上げます。

問 い 合 わ せ 先

研究責任者：放射線科 教授 多湖 正夫

帝京大学医学部附属溝口病院

住所：〒213-8507 神奈川県川崎市高津区二子 5-1-1 TEL&FAX:044-844-3340

※ご連絡の際には、お名前／帝京大学医学部附属溝口病院の診察券番号／拒否される研究課題名をお知らせください。